

内閣府では「理工チャレンジ（リコチャレ）」という、女子中高生・学生の皆さんが理工系分野に興味・関心を持ち、将来の自分をしっかりイメージして進路を選択することを応援する取組を行っています。

現在、大学等の理工系専攻の女子の割合は低く、これは理数系科目の学力不足ではなく、保護者の意向や理工系に進むことを後押ししてくれるような身近な手本の不在などの環境が影響していると考えられています。

将来の多様な進路選択を可能にするために、ぜひリコチャレに参加してみませんか。



(令和7年(2025年)7月号/広報やす)

CASE 21

理工チャレンジ、女子生徒等の理工系の進路選択を促進

CASE 22

「家族経営協定」をはじめよう！



(令和7年(2025年)8月号/広報やす)

日本の農業は家族経営が大部分を占めています。家族だからこそその良い点がありますが、仕事とそれ以外の生活の境目が曖昧になりやすく、そこから不満やストレスが生まれがちです。

家族一人ひとりが意欲と能力を存分に発揮できる環境を整備するために、互いの個性や能力を認め合い、対等な関係として経営方針や就業条件などを明確にする「家族経営協定」を締結する方法があります。家族みんなが協定の作成に協力し、話し合うことで結束が強まり、より円滑な経営につながります。